

栃木県景観アドバイザープロフィール

御氏名	小花 伸子（こはな のぶこ）
現職名等	小花塗装株式会社 代表取締役社長
アドバイスできること	<p>○広域色彩計画</p> <p>○景観に配慮した建築物・構造物・公園・道路・外構等の色彩設計</p> <p>○色彩心理に基づいた公共案内・公共交通・サイン等の色彩計画</p>
経歴・活動実績・資格等	<p>（活動実績）</p> <p>【栃木県】</p> <p>H14 栃木県景観条例制定委員</p> <p>H15～H23 栃木県景観審議会委員</p> <p>H16～H17 栃木県屋外広告物審議会委員</p> <p>H16～ 栃木県景観アドバイザー</p> <p>H14～H15 栃木県新交通システム導入基本計画調査委員</p> <p>【宇都宮市】</p> <p>H10～H26 宇都宮市まちなみ景観賞選考委員</p> <p>H16～H17 宇都宮市新交通システム方策調査検討委員</p> <p>H18～H19 宇都宮市景観計画策定懇談会委員</p> <p>H19～ 宇都宮市景観審議会委員</p> <p>H19～H21 宇都宮市大谷の文化的景観保存計画検討委員</p> <p>H24～ 宇都宮市景観アドバイザー</p> <p>（資格等）</p> <p>カラーコーディネーター2級</p> <p>1級建築施工管理技士</p>
ホームページ・著書等	<p>（ホームページアドレス）</p> <p>http://kohana-tosou.com</p>

私の景観への「思い」、「好きな景観」など

日本人はもともと自然と一体で暮らしていたので、景観について特別考えなくても調和していた。人工的な材料や塗料など異文化が入ってくるにつれ、自己主張の表現が苦手な日本人はちぐはぐな景観を出してしまった。

景観とはそこに暮らす人々の心のありかたを映し出すものである。訪れる人は景観からその土地の文化・生活を無意識に感じ取る。訪れた先の快不快には、景観も大きく関わってくる。

栃木県内において、豊かな自然を生かし、その土地土地の暮らしに調和した、訪れる人々をおもてなしの心で迎える景観を創造出来れば、栃木県の発展にもつながっていくと思われる。

色彩は、素材に並ぶ重要な景観要因である。色彩が人間に与える心理的影響は、多大なものがある。美しさだけではなく、場所・用途に合わせた安全性・快適性を考慮した色彩計画が必要になる。

人々の暮らしには様々な感情や思いが内包している。街の色彩もただ色を揃えるのでは現実感のない景観になってしまう。実際、人工的に美しい開発都市で自殺者が多発した例もある。整然・雑然・静寂・躍動と、相反するものを併せ持って調和させてこそ、暮らす人が快適な、訪れる人は何度でも訪れたい魅力ある街になるのではないだろうか。